

卒業研究科目

科目名	人間文化演習〔日本語理解専攻〕		科目コード	GR102	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Japan Studies)		科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	部田 和美	教員コード	153	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	木曜日/3時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	30	5.学習の過程で発見した課題を探求する		40
	3.論理的・批判的なものの見方を養う	30	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	前半は言語学・日本語学やそれに関連する分野の文献を読み、内容を理解し要点を押さえてまとめる作業をする。後半は前半で扱ったテーマを中心に、学生自身が研究テーマとして扱いたいものを選び、関連する先行研究を収集し読み進める。言語学の研究方法についても学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	言語学、日本語学に関する論文を理解し、卒業論文を作成するに足る知識を身に付ける。また、文献から自身で問題点を見つけ、研究に繋げるための思考力、洞察力を養う。総じて卒業論文を作成する準備を整えることができる。				
授業内容のレベル・関連科目	基礎的な日本語文法の知識が必要。 関連科目：日本語学概論Ⅰ・Ⅱ				
授業外学習(予習・復習)	予習：扱う文献をよく読み込んでくる。 復習：教員の与えた課題を行う。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間
使用教科書	特になし。教員が文献資料を配布する。				
参考書・その他教材	定延利之編『私たちの日本語』朝倉書店 定延利之編『私たちの日本語研究』朝倉書店 岡崎友子他編『ココが面白い！日本語学』ココ出版				
課題に対するフィードバック	毎回の課題(論文要点のまとめ)の修正点を確認し、重要な点は授業で共有する。				
成績評価方法	授業への参加態度30%、毎週の課題30%、最終レポート40%				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	授業以外の日常生活においても、そこで使用されている言葉や表現に関心を持ち、疑問に思ったことなどはメモに書き留めておく。(そうした日頃の小さな疑問から研究テーマが見つかることが多い)				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	torita@aikoku-u.org				

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション 日本語学の内容の確認と授業で各分野で扱うテーマの決定 日本語学概論Ⅰ・Ⅱで学んだことを確認する 教員からの課題を行う
2 回	学習内容 予習 復習	日本語文法に関する論文(1)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
3 回	学習内容 予習 復習	日本語文法に関する(論文(1)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
4 回	学習内容 予習 復習	日本語文法に関する論文(2)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
5 回	学習内容 予習 復習	日本語文法に関する(論文(2)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
6 回	学習内容 予習 復習	日本語の談話に関する論文(1)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
7 回	学習内容 予習 復習	日本語の談話に関する論文(1)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
8 回	学習内容 予習 復習	日本語の談話に関する論文(2)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
9 回	学習内容 予習 復習	日本語の談話に関する論文(2)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
10 回	学習内容 予習 復習	社会言語学に関する論文(1)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
11 回	学習内容 予習 復習	社会言語学に関する論文(1)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
12 回	学習内容 予習 復習	社会言語学に関する論文(2)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
13 回	学習内容 予習 復習	社会言語学に関する論文(2)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
14 回	学習内容 予習 復習	日本語コーパスに関する資料(1) 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 教員からの課題を行う
15 回	学習内容 予習 復習	日本語コーパスに関する資料(2) 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 教員からの課題を行う

16 回	学習内容 予習 復習	前半に扱った論文を振り返り、関心のあるテーマを考える(ディスカッション) 休暇中に自身が研究したいテーマの候補をいくつか挙げておく 教員からの課題を行う
17 回	学習内容 予習 復習	学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(1) 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)
18 回	学習内容 予習 復習	学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(2) 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)
19 回	学習内容 予習 復習	学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(3) 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)
20 回	学習内容 予習 復習	学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(4) 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)
21 回	学習内容 予習 復習	学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(5) 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)
22 回	学習内容 予習 復習	学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(6) 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)
23 回	学習内容 予習 復習	学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(7) 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)
24 回	学習内容 予習 復習	学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(8) 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)
25 回	学習内容 予習 復習	言語研究の方法(1) 資料講読 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 教員からの課題を行う
26 回	学習内容 予習 復習	言語研究の方法(2) 資料講読 事前に配布された論文を読み、大体の内容を把握しておく 教員からの課題を行う
27 回	学習内容 予習 復習	言語研究の方法(3) 実践練習 教員からの課題を行う 教員からの課題を行う
28 回	学習内容 予習 復習	言語研究の方法(3) 実践練習 これまで扱った論文で関心のあるもの、理解が難しかったものをまとめておく 教員からの課題を行う
29 回	学習内容 予習 復習	全体のまとめと振り返り(1) これまで扱った論文で関心のあるもの、理解が難しかったものをまとめておく 関心のあるテーマについて文書にまとめてみる
30 回	学習内容 予習 復習	全体のまとめと振り返り(2) 教員からの卒業論文テーマに関する課題を行う 卒業論文作成に向けて必要な論文を確認する

科目名	人間文化演習〔心理・生活専攻〕			科目コード	GR107	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Life and Psychology)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	中村 博子	教員コード	162		単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日/4時限		授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける	10	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		10	
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	30	5.学習の過程で発見した課題を探求する		20	
	3.論理的・批判的なものの見方を養う	20	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		10	
授業概要	心理学研究における研究方法・研究結果についていくつか紹介する。それをもとに各自の興味関心のある研究テーマについて議論する。また、卒業研究の準備として、論文の読み方や書き方についての練習を行う。					
授業の狙い・到達目標	心理学の研究について、課題の発見や研究方法、結果のまとめ方などを理解するとともに、文献の読み方や論文の書き方を修得し、専門的知識を論理的に表現できるようになることを目指す。					
授業内容のレベル・関連科目	これまでの心理学関連の講義科目とは異なり、ゼミ形式の授業として発表や積極的な議論の参加を求める。心理学実験実習や心理学研究法、また自身の関心のある心理学分野の各科目について履修済みもしくは合わせての履修が望ましい。					
授業外学習(予習・復習)	関心のある日常の心理的現象について自分なりにまとめておくこと。また、毎回の授業内容については自分なりに振り返り、要約をするとともに、課題の提出に備えること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	木下是雄『理科系の作文技術』中公新書					
参考書・その他教材	授業の際に適宜紹介あるいは配布を行う。					
課題に対するフィードバック	提出された課題やレポートについては授業の際に適宜フィードバックを行う。					
成績評価方法	授業態度(20%)、課題およびレポート(80%)で総合的に評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	原則として毎回出席し、積極的に議論に参加すること。					
科目に関連した教員の実務経験	心理職の臨床実務経験(教育、産業、福祉分野)					
担当教員への連絡方法	授業前後、オフィスアワー、メールでの質問(hnakamura@aikoku-u.org)を受け付ける。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクションー演習の内容や進め方について シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておくこと 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深めること
2 回	学習内容 予習 復習	心理学研究への導入ー心理学研究の範囲や特徴 これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
3 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介①ー知覚心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
4 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介②ー認知心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
5 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介③ー社会心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
6 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介④ー性格心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 回	学習内容 予習 復習	研究テーマディスカッションー心理学的研究のテーマについて自由に議論する 自分が関心のある心理学的研究のテーマについて考えておくこと 授業で行った議論をもとにあらためて研究テーマについて考えをまとめておくこと
11 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能①ー文献検索の意義、具体的方法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 自分の興味のあるテーマやトピックに関する文献を検索すること
12 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能②ー文献の読み方(専門書、論文、報告書) 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 自分の興味のあるテーマやトピックに関する文献を読むこと
13 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能③ー読書メモの作成法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと これまでに読んだ文献について読書メモを作成すること
14 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能④ーレジユメの作成法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと これまでに読んだ文献についてレジユメを作成すること
15 回	学習内容 予習 復習	研究技能訓練のための課題ー出題内容と取り組み方法の説明と実施 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 指示された課題について取り組み提出すること

16 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読①－文書作成の準備 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
17 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読②－文章の組み立て、パラグラフ テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
18 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読③－明確な文章、「事実」と「意見」の違い テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
19 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読④－わかりやすく簡潔な表現 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
20 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読⑤－わかりやすい発表の仕方 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
21 ・ 22 ・ 23 回	学習内容 予習 復習	論理的思考の訓練－課題形式で思考力の訓練を行う 配布資料に目を通して発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表内容をふまえて、次の課題に備えること
24 ・ 25 回	学習内容 予習 復習	説明の練習－日常的な心理現象を論理的に説明する練習を行う 日常的な心理現象について集めておくこと 授業で扱ったもの以外の心理現象について論理的な説明を考えること
26 ・ 27 ・ 28 ・ 29 回	学習内容 予習 復習	心理学文献の輪読－卒業研究に関連するテーマの文献を読み、レジュメにまとめ、発表する 関心のあるトピックに関連した心理学的研究を扱った論文を見つけておくこと 自分の発表に備えてレジュメを作成すること
30 回	学習内容 予習 復習	まとめ－卒業研究への導入 これまでの学習内容を自分なりに整理しておくこと 卒業研究のテーマについて考えておくこと

科目名	人間文化演習〔心理・生活専攻〕		科目コード	GR108	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Life and Psychology)		科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	原島 雅之	教員コード	142	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日/4時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		30
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	20	5.学習の過程で発見した課題を探求する		30
	3.論理的・批判的なものの見方を養う	10	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		10
授業概要	心理学研究における研究方法・研究結果についていくつか紹介する。それをもとに各自の興味関心のある研究テーマについて議論する。また、卒業研究の準備として、論文の読み方や書き方についての練習を行う。				
授業の狙い・到達目標	心理学の研究について、課題の発見や研究方法、結果のまとめ方などを理解するとともに、文献の読み方や論文の書き方を修得することができる。				
授業内容のレベル・関連科目	これまでの心理学関連の講義科目とは異なり、ゼミ形式の授業として発表や積極的な議論の参加を求める。心理学実験実習や心理学研究法、また自身の関心のある心理学分野の各科目について履修済みもしくは合わせての履修が望ましい。				
授業外学習(予習・復習)	関心のある日常の心理的現象について自分なりにまとめておくこと。また、毎回の授業内容については自分なりに振り返り、要約をすることともに、課題の提出に備えること。		授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	木下是雄『理科系の作文技術』中公新書				
参考書・その他教材	授業の際に適宜紹介あるいは配布を行う。				
課題に対するフィードバック	提出された課題やレポートについては授業の際に適宜フィードバックを行う。				
成績評価方法	授業態度(20%)、課題およびレポート(80%)で総合的に評価する。				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	原則として毎回出席し、積極的に議論に参加すること。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	harashima@aikoku-u.org				

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクションー演習の内容や進め方について シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておくこと 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深めること
2 回	学習内容 予習 復習	心理学研究への導入ー心理学研究の範囲や特徴 これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
3 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介①ー知覚心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
4 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介②ー認知心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
5 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介③ー社会心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
6 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介④ー性格心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 回	学習内容 予習 復習	研究テーマディスカッションー心理学的研究のテーマについて自由に議論する 自分が関心のある心理学的研究のテーマについて考えておくこと 授業で行った議論をもとにあらためて研究テーマについて考えをまとめておくこと
11 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能①ー文献検索の意義、具体的方法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 自分の興味のあるテーマやトピックに関する文献を検索すること
12 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能②ー文献の読み方(専門書、論文、報告書) 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 自分の興味のあるテーマやトピックに関する文献を読むこと
13 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能③ー読書メモの作成法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと これまでに読んだ文献について読書メモを作成すること
14 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能④ーレジユメの作成法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと これまでに読んだ文献についてレジユメを作成すること
15 回	学習内容 予習 復習	研究技能訓練のための課題ー出題内容と取り組み方法の説明と実施 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 指示された課題について取り組み提出すること

16 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読①－文書作成の準備 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
17 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読②－文章の組み立て、パラグラフ テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
18 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読③－明確な文章、「事実」と「意見」の違い テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
19 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読④－わかりやすく簡潔な表現 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
20 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読⑤－わかりやすい発表の仕方 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
21 ・ 22 ・ 23 回	学習内容 予習 復習	論理的思考の訓練－課題形式で思考力の訓練を行う 配布資料に目を通して発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表内容をふまえて、次の課題に備えること
24 ・ 25 回	学習内容 予習 復習	説明の練習－日常的な心理現象を論理的に説明する練習を行う 日常的な心理現象について集めておくこと 授業で扱ったもの以外の心理現象について論理的な説明を考えること
26 ・ 27 ・ 28 ・ 29 回	学習内容 予習 復習	心理学文献の輪読－卒業研究に関連するテーマの文献を読み、レジュメにまとめ、発表する 関心のあるトピックに関連した心理学的研究を扱った論文を見つけておくこと 自分の発表に備えてレジュメを作成すること
30 回	学習内容 予習 復習	まとめ－卒業研究への導入 これまでの学習内容を自分なりに整理しておくこと 卒業研究のテーマについて考えておくこと

科目名	人間文化演習〔地域共生専攻〕		科目コード	GR111	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Regional Studies)		科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	岡庭 義行	教員コード	159	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	水曜日/3時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		30
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		5.学習の過程で発見した課題を探究する		30
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		30	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	地域社会における多様な「共生」の課題と論理を体系的且つ実証的に理解することを目的とする。履修生は、自己の関心テーマに基づいて、資料収集や整理の技法を学び、共生の思考を獲得することを目途とする。				
授業の狙い・到達目標	[到達目標①]「共生」に関する諸問題を解説した概念と理論を用いて説明することができる。 [到達目標②]「共生」に関する資料や情報を収集整理し、自らの言葉で説明することができる。 [到達目標③]日常にある差別と包摂の課題を抽出し、その解決に向けた取り組みを提案できる。				
授業内容のレベル・関連科目	論文作成のための資料収集、整理・体系化の技術、及び分析的思考を涵養することが求められるため、関連する講義等を積極的に履修することが望ましい。				
授業外学習(予習・復習)	[事前学習]日頃から民族、信仰、性別、年齢、障がい等に基づくさまざまな課題事例を収集しておくこと。[事後学習]学習内容を自己の問題意識や生活上の課題に接続させて理解を深めること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間
使用教科書	特になし				
参考書・その他教材	各テーマに基づき演習中に関係資料を明示するとともに、参考文献の一覧を配布する。				
課題に対するフィードバック	提出課題はすべてコメントを記して返却し、適宜、関連資料を付して解説する。				
成績評価方法	・課題レポート[到達目標①](50%)、 ・講義中の小課題・リアクション・ペーパー[到達目標②③](20%)、 ・講義への参加状況(30%)				
成績評価基準	授業の狙いに基づいた学習到達目標にどのくらい到達したかを、本学の「学業成績判定に関する規程の基準」に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	日常生活におけるさまざまな共生に関する事象や課題に関心をもち、次年度の卒業論文を展望しながら主体的に学習することが望ましい。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	メールでの質問(okaniwa@aikoku-u.org)、またはオフィスアワー(新年度に掲示)。もちろん授業終了後に、直接聞くことも可。				

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション – 演習の目的と進め方, 共生のしくみと考え方 – シラバスを精読し演習の概要と方法について確認しておくこと。 演習の目的や内容について確認し, 以降の講義の目標と展望を深める。
2 回	学習内容 予習 復習	関心領域の開拓① 学術論文 さまざまな資料・情報・知見にアクセスして, 研究の視野と関心領域を広げる。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
3 回	学習内容 予習 復習	関心領域の開拓② 記事・時事問題 さまざまな資料・情報・知見にアクセスして, 研究の視野と関心領域を広げる。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
4 回	学習内容 予習 復習	関心領域の開拓③ 社会生活・身近な事象 さまざまな資料・情報・知見にアクセスして, 研究の視野と関心領域を広げる。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
5 回	学習内容 予習 復習	資料収集の技術① 図書館リファレンスの活用法 図書館リファレンス, オンライン情報検索, 非言語情報の固定化など資料収集の技術を習得する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
6 回	学習内容 予習 復習	資料収集の技術② 博物館・美術館の研究支援サービス 図書館リファレンス, オンライン情報検索, 非言語情報の固定化など資料収集の技術を習得する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
7 回	学習内容 予習 復習	資料収集の技術③ 社会調査法・フィールドワーク 図書館リファレンス, オンライン情報検索, 非言語情報の固定化など資料収集の技術を習得する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
8 回	学習内容 予習 復習	資料の読み方① 報告書・学術論文の読み方 資料の深層にある情報を抽出して事象の本質を浮揚させ言語化する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
9 回	学習内容 予習 復習	資料の読み方② 一次資料(raw data)の読み方 資料の深層にある情報を抽出して事象の本質を浮揚させ言語化する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
10 回	学習内容 予習 復習	資料の読み方③ アーカイブの読み方 資料の深層にある情報を抽出して事象の本質を浮揚させ言語化する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
11 回	学習内容 予習 復習	資料の分析と体系化① 資料分析の種類 収集された資料を分析して, 研究資料として活用可能な状態にするための手続きを考える。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
12 回	学習内容 予習 復習	資料の分析と体系化② 体系化の事例 収集された資料を分析して, 研究資料として活用可能な状態にするための手続きを考える。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
13 回	学習内容 予習 復習	資料の分析と体系化③ 個別事例の分析と体系化 収集された資料を分析して, 研究資料として活用可能な状態にするための手続きを考える。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
14 回	学習内容 予習 復習	資料の分析と体系化④ 分析と体系化の実践 収集された資料を分析して, 研究資料として活用可能な状態にするための手続きを考える。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
15 回	学習内容 予習 復習	まとめ・総括 – 共生の思想を再考する – 前期の演習を振り返り, 可能な限り近接する講義や日常の問題意識に結びつけること。 学習内容を各自の学問的関心に接続させ, 今後の学びを発展させていく。

16 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション ― 共生への理解を深める― シラバスを精読し演習の概要と方法について確認しておくこと。 演習の目的や内容について確認し、以降の講義の目標と展望を深める。
17 回	学習内容 予習 復習	論理的思考と表現技法① 論理的思考とは何か 論文作成のための論理的思考を涵養し、自らの言葉で表現するための学習を心がける。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
18 回	学習内容 予習 復習	論理的思考と表現技法② 論理的思考の事例 論文作成のための論理的思考を涵養し、自らの言葉で表現するための学習を心がける。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
19 回	学習内容 予習 復習	論理的思考と表現技法③ 言葉による表現 論文作成のための論理的思考を涵養し、自らの言葉で表現するための学習を心がける。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
20 回	学習内容 予習 復習	論理的思考と表現技法④ 文字表現の基礎 論文作成のための論理的思考を涵養し、自らの言葉で表現するための学習を心がける。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
21 回	学習内容 予習 復習	論理的思考と表現技法⑤ 論文構成の応用 論文作成のための論理的思考を涵養し、自らの言葉で表現するための学習を心がける。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
22 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践① ディスカッション、取り組み課題の説明 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
23 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践② 分析枠の選択 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
24 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践③ フィールドワーク 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
25 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践④ 論文・レポートの作成(1) 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
26 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践⑤ 論文・レポートの作成(2) 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
27 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践⑥ プレゼンテーションの実践(1) 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
28 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践⑦ プレゼンテーションの実践(2) 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
29 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践⑧ 振り返りとディスカッション 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
30 回	学習内容 予習 復習	まとめ・総括 ― 表現と表象の位相― これまでの演習を振り返り、可能な限り近接する課題や日常の問題意識に結びつけること。 学習内容を各自の学問的関心に接続させ、今後の学びを発展させていく。

科目名	人間文化演習〔ビジネス専攻〕		科目コード	GR114	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Business Studies)		科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	大屋 伸彦	教員コード	161	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	30	
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	20	5.学習の過程で発見した課題を探究する	20	
	3.論理的・批判的なものの見方を養う	30	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	論文を作成する上での書き方を理解する。 ビジネスに関連する社会問題について広く理解する。				
授業の狙い・到達目標	理論的な物の考え方を身につけ、プレゼンテーションの能力を身につけることができる。 文章作成能力が身につけることができる。 他者への意見を自分の言葉で述べられるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	ビジネス専攻に関係する知識を得ていることが前提となる。 これまで履修した科目がすべてが関連する。				
授業外学習(予習・復習)	何事も受け身にならず、自ら調べ疑問を解決できるように心がけること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間
使用教科書	教員が資料を配布する予定。				
参考書・その他教材	講義内で必要となった場合に指示する。				
課題に対するフィードバック	講義内に行う。				
成績評価方法	課題レポート(80%)、授業への取り組み(20%)				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	課題提出の期日は必ず守ること。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィスアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。				

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方など) シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2 回	学習内容 予習 復習	身のまわりにある社会問題についてのディスカッション 自分がどのようなことに興味があるのか考えておくこと 他者の意見を参考に自分の考えをまとめること
3 回	学習内容 予習 復習	身のまわりにある社会問題についてのディスカッション 自分がどのようなことに興味があるのか考えておくこと 他者の意見を参考に自分の考えをまとめること
4 回	学習内容 予習 復習	身のまわりにある社会問題についてのディスカッション 自分がどのようなことに興味があるのか考えておくこと 他者の意見を参考に自分の考えをまとめること
5 回	学習内容 予習 復習	研究テーマ設定 研究したい領域を設定しておく 関連する先行研究をサーベイする
6 回	学習内容 予習 復習	研究テーマ設定 先行研究と研究テーマの違いを明確にしておく 関連する先行研究をサーベイする
7 回	学習内容 予習 復習	研究テーマ設定 先行研究と研究テーマの違いを明確にしておく 関連する先行研究をサーベイする
8 回	学習内容 予習 復習	研究テーマ設定 先行研究と研究テーマの違いを明確にしておく 関連する先行研究をサーベイする
9 回	学習内容 予習 復習	研究テーマ設定 先行研究と研究テーマの違いを明確にしておく 関連する先行研究をサーベイする
10 回	学習内容 予習 復習	研究テーマ設定 先行研究と研究テーマの違いを明確にしておく 関連する先行研究をサーベイする
11 回	学習内容 予習 復習	研究テーマに関連する仮説の検証 研究テーマに関連するリサーチクエスションと仮説をつくる 仮説検証のための先行研究サーベイを行う
12 回	学習内容 予習 復習	研究テーマに関連する仮説の検証 研究テーマに関連するリサーチクエスションと仮説立て、検証を繰り返し行う 仮説検証のための先行研究サーベイを行う
13 回	学習内容 予習 復習	研究テーマに関連する仮説の検証 研究テーマに関連するリサーチクエスションと仮説立て、検証を繰り返し行う 仮説検証のための先行研究サーベイを行う
14 回	学習内容 予習 復習	研究テーマに関連する仮説の検証 研究テーマに関連するリサーチクエスションと仮説立て、検証を繰り返し行う 仮説検証のための先行研究サーベイを行う
15 回	学習内容 予習 復習	研究テーマに関連する仮説の検証 研究テーマに関連するリサーチクエスションと仮説立て、検証を繰り返し行う 仮説検証のための先行研究サーベイを行う

16 回	学習内容 予習 復習	論文の主題を明確にする 前回までに立てた仮説のなかから論文に使用する仮説を選択する 仮説を補強するための先行研究サーベイを行う
17 回	学習内容 予習 復習	論文の主題を明確にする 研究の背景・目的、方法を検討する 仮説の妥当性検証と主題の修正を行う
18 回	学習内容 予習 復習	論文の主題を明確にする 研究の背景・目的、方法を検討する 仮説の妥当性検証と主題の修正を行う
19 回	学習内容 予習 復習	論文の主題を明確にする 研究の背景・目的、方法を検討する 仮説の妥当性検証と主題の修正を行う
20 回	学習内容 予習 復習	論文の主題を明確にする 研究の背景・目的、方法を検討する 仮説の妥当性検証と主題の修正を行う
21 回	学習内容 予習 復習	論文の主題を明確にする 研究の背景・目的、方法を検討する 仮説の妥当性検証と主題の修正を行う
22 回	学習内容 予習 復習	論文の主題を明確にする 研究の背景・目的、方法を検討する 仮説の妥当性検証と主題の修正を行う
23 回	学習内容 予習 復習	アウトラインの作成 主題に合わせて論文の構成を検討する アウトラインの妥当性検証と修正を行う
24 回	学習内容 予習 復習	アウトラインの作成 主題に合わせて論文の構成を検討する アウトラインの妥当性検証と修正を行う
25 回	学習内容 予習 復習	発表準備 作成したアウトラインをPowerPointにまとめる アウトラインの妥当性検証と修正を行う
26 回	学習内容 予習 復習	発表準備 作成したアウトラインをPowerPointにまとめる アウトラインの妥当性検証と修正を行う
27 回	学習内容 予習 復習	発表準備 作成したアウトラインをPowerPointにまとめる アウトラインの妥当性検証と修正を行う
28 回	学習内容 予習 復習	発表準備 作成したアウトラインをPowerPointにまとめる アウトラインの妥当性検証と修正を行う
29 回	学習内容 予習 復習	発表 作成したアウトラインをPowerPointにまとめる 発表に対するフィードバックを参照してアウトラインを修正する
30 回	学習内容 予習 復習	これまでの総括 これまでの講義を振り返っておくこと 次年度の卒業研究論文に向けて準備しておく

科目名	人間文化演習[ビジネス専攻]		科目コード	GR115	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Business Studies)		科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	日坂 彰	教員コード	137	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	金曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	40	
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	10	5.学習の過程で発見した課題を探求する	20	
	3.論理的・批判的なものの見方を養う	10	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	20	
授業概要	課題設定能力、情報収集・分析能力と解決案としての企画立案能力を養うことを目的にしている。毎回テーマを提示し、教師と学生が問答を通して、学生の考える力を引き出すことをねらいとしている。				
授業の狙い・到達目標	問題解決の流れや手法を理解させ、問題の構造や本質を見極めることができる能力を涵養する。問題の社会的背景や要点間の連関を俯瞰的視点で考える能力が習得できる。				
授業内容のレベル・関連科目	共通科目全般及びビジネス専攻科目に加えて、本学開講科目のあらゆる科目との関連可能性あり				
授業外学習(予習・復習)	授業の最後に、まとめの復習スライドと次回講義の予習スライドを配布する。これにもとづいて、予習、復習すること。	授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間		
使用教科書	桑田てるみ、「学生のレポート・論文作成トレーニング」改訂版、実教出版				
参考書・その他教材	石井 一成、「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」、ナツメ社				
課題に対するフィードバック	課題演習や不定期に「理解度の確認テスト」などをおこない、次の週に解答を示す。				
成績評価方法	①レポート(80%)、②平常点(20%)により評価する。				
成績評価基準	授業において、課題設定、情報収集・分析、解決案に積極的に取り組んでいるかどうか、また本学の学業成績判定に関する規程の基準に準拠する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	創発的な交流と品格ある場を皆で形成し、少人数のチーム編成で問題・課題を抽出するために能動的かつ積極的な姿勢で臨んでいただきたい。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	日坂彰(につさかあきら) anissaka@aikoku-u.org 送信に際しては件名、学籍番号、氏名を忘れずに記入すること。				

1 回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション>授業の進め方、目標の確認 シラバスをあらかじめ読んでおくこと 授業の進め方などについて振り返ること
2 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(1)> 問題解決演習PBLについて 演習の進め方の資料を読んでおくこと 演習課題について考える
3 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(1)> PBLの基本構成について 演習課題について考える 演習を振り返ること
4 回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>問題解決演習の進め方 演習課題について考える 演習内容についてまとめを作成すること
5 回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>チームによる解決手法 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること
6 回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>役割分担とコミュニケーション 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること
7 回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>学習計画とスケジュールリング 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること
8 回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>情報収集分析演習 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること
9 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習の進め方の資料を読んでおくこと 演習を振り返ること
10 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習内容について考える 演習を振り返ること
11 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習課題について考える 演習のまとめを作成すること
12 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> レポート作成 予習スライドを読んでくること 演習を振り返る
13 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> レポート作成 予習スライドを読んでくること 演習を振り返る
14 回	学習内容 予習 復習	<発表と評価> 発表を準備する 演習を振り返る
15 回	学習内容 予習 復習	<発表と評価> 発表を準備する 演習を振り返る

16 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBによる演習 予習スライドを読んてくること 演習を振り返ること
17 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBによる演習・ディカッション 予習スライドを読んてくること 演習を振り返ること
18 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBによる演習・ディスカッション 予習スライドを読んてくること 演習内容のまとめを作成すること
19 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBのレポート作成 予習スライドを読んてくること 演習を振り返ること
20 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBのパワーポイント作成 予習スライドを読んてくること 演習を振り返ること
21 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBのパワーポイント作成 予習スライドを読んてくること 演習内容のまとめを作成すること
22 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCによる演習 予習スライドを読んてくること 演習を振り返ること
23 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCによる演習・ディカッション 予習スライドを読んてくること 演習を振り返ること
24 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCによる演習・ディスカッション 予習スライドを読んてくること 演習を振り返ること
25 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCのレポート作成 予習スライドを読んてくること 演習を振り返ること
26 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCのレポート作成 予習スライドを読んてくること 演習を振り返ること
27 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCのパワーポイント作成 予習スライドを読んてくること 演習を振り返ること
28 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCのパワーポイント作成 予習スライドを読んてくること 発表の準備をする
29 回	学習内容 予習 復習	<発表と評価> 発表の準備をする 発表を振り返ること
30 回	学習内容 予習 復習	<発表と評価>総合発表 発表の準備をする 授業の全体を振り返ること

科目名	人間文化演習〔ビジネス専攻〕			科目コード	GR116	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Business Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	呉 鷹	教員コード	157	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日/4時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける	10	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	10		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	30	5.学習の過程で発見した課題を探求する	20		
	3.論理的・批判的なものの見方を養う	20	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	10		
授業概要	人間文化演習では、経済社会における多様な現象や諸問題を理解するための基礎的な知識を修得するとともに、研究活動の基盤となる方法論を学ぶ。本演習では、課題の作成や発表を通じて、研究背景および研究課題の設定、先行研究の整理、文献・資料・情報の収集と分析を行い、学術的文章作成能力の向上を図る。卒業研究につながる基礎的な研究力を養成する。					
授業の狙い・到達目標	経済社会の諸現象、諸問題を論理的に分析する基礎知識を学ぶ。統計データに基づいた分析のスキルを習得し、論理的な文章を作成することができるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	論理的な文章の作成に必要とされる基礎知識とスキルを習得する。関連科目：卒業研究演習に限らない。					
授業外学習(予習・復習)	配布資料と教科書の予習・復習、事前・事後調べが必要である。演習での指導内容を踏まえ、小論文を作成する。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング』(改訂版)実教出版(2015)					
参考書・その他教材	龍谷大学農学部食料農業システム学科編『知っておきたい食・農・環境』昭和堂(2016)、『農業と経済』昭和堂(2020年以降の特集)、『食料・農業・農村白書』農林水産省など					
課題に対するフィードバック	課題に対して、次回の演習で解説と講評を行う。					
成績評価方法	小論文作成30%、発表30%、輪読に対する理解度20%、平常点20%					
成績評価基準	演習課題の完成度をはじめとする自主的に取り組んでいた成果を踏まえ、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基づき、到達度を総合的に評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	計画通りに主体的に取り組む。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)あるいは対面で対応する。メールの場合、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。対面の場合、授業終了後あるいはオフィスアワー(新年度に掲示)に対応する。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション、関心を持つ社会現象、社会問題への探究 シラバスを事前に確認し、関心を持っている社会現象や社会問題を5分間で説明してみる。 テーマに対するコメントを確認し、より深く調べるために、どのようなスキルが必要かを考える。
2 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基本を知る 教科書の指定ページを予習する。 教科書の指定ページ、授業中の解説を復習し、演習課題を完成し、次回の演習で発表する。
3 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(1) 発想力、読解力 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
4 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(2) 要約力 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
5 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(3) 新聞から学ぶ要約の仕組み 教科書の指定ページ、新聞記事の内容を予習する。 教科書の指定ページ、演習中の解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
6 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(4) 批判的思考力 教科書の指定ページを予習する。 教科書の指定ページ、演習中の解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
7 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(5) 表現力集中トレーニング 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
8 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(6) 表現力集中トレーニング 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
9 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(7) レポート・論文の表現 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
10 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 課題発見力の養成(1) 輪読と発表 問題意識 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、問題意識を考えて次回の演習で発表する。
11 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 課題発見力の養成(2) 輪読と発表 論点を考える 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、論点を考えて次回の演習で発表する。
12 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 課題発見力の養成(3) 輪読と発表 論点を絞る 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、論点を絞って次回の演習で発表する。
13 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 情報探索力の養成(1) 輪読と発表 情報を探す 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、関連する情報を収集して次回の演習で発表する。
14 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 情報探索力の養成(2) 輪読と発表 文献を探す 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、関連する文献を整理して次回の演習で発表する。
15 回	学習内容 予習 復習	前期の総括 テーマ型小論文の作成 第2～14回の内容を復習し、関心を持っているテーマを探し、5分間で説明できるようにする。 第2～14回の内容を復習し、夏休み期間中にテーマ型小論文を完成する。

16 回	学習内容 予習 復習	後期の学習目標、前期の課題発表 シラバスを事前に確認し、前期の課題であるテーマ型小論文の質を高める。 テーマ型小論文に対する講評と自分の新しい考えを踏まえ、小論文を修正して再提出する。
17 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 情報整理力の養成(1) 文献の整理と保存 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、文献を整理して保存する。
18 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 情報整理力の養成(2) 文献の取捨選択 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、関心を持っているテーマに関する文献の取捨選択を行う。
19 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(1) 統計データの読み方(FAO等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
20 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(2) 統計データの読み方(FAO等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
21 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(3) 統計データの読み方(農林水産省等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
22 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(4) 統計データの読み方(農林水産省等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
23 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(5) 統計データの読み方(経済産業省等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
24 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(6) 統計データの読み方(経済産業省等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
25 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(7) 財務諸表の読み方(上場企業の損益計算書等) 輪読用の配布資料を予習し、上場企業の損益計算書を調べる。 演習内容と解説を復習し、上場企業の複数年度の損益計算書を踏まえて解説を行う。
26 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(8) 財務諸表の読み方(上場企業の損益計算書等) 輪読用の配布資料を予習し、上場企業の損益計算書を調べる。 演習内容と解説を復習し、上場企業の複数年度の損益計算書を踏まえて解説を行う。
27 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 課題考察力の養成 考察を深める 教科書の指定ページと輪読用の配布資料を予習する。 演習内容と解説を踏まえ、第26回までに取り組んできた課題を一つ選択し、考察を深める。
28 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 論文構成力の養成 教科書の指定ページと配布資料を予習する。 演習内容と解説を踏まえ、卒論のテーマを考えて論文の骨子を考えてみる(箇条書き)。
29 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 文章構成力の養成 教科書の指定ページと配布資料を予習する。 演習内容と解説を踏まえ、卒論の章立てを考える。
30 回	学習内容 予習 復習	総括(論文作成の要領をまとめる)、卒業研究演習に向けた準備 第2～29回の演習内容等を復習し、卒論のテーマを真剣に考える。 第2～29回の演習内容等を復習し、問題意識を明確にし、文献とデータの整理を行う。

科目名	人間文化演習〔ビジネス専攻〕			科目コード	GR117	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Business Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	中野 慶昭		教員コード	163		単位数 2単位
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日/4時限		授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		10	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		20
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		20	5.学習の過程で発見した課題を探求する		10
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		30	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		10
授業概要	本演習では、身近な社会問題や企業組織の課題を題材に、情報収集・分析・批判的思考を通じて、自身の意見を論理的に文章化する力を養う。 前半は、話し合い学習法を用いて、文章作成に必要な基礎スキル(要約・批判的思考・表現力)を協働的に身につける。 後半は、学生が主体的にテーマを設定し、小論文の構成・執筆・推敲・発表を行う。					
授業の狙い・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的根拠に基づき、自身の意見を論理的に述べる力を身につける。 ・卒業論文作成に必要な文章構成力・情報探索力・批判的思考力を習得する。 ・話し合い学習法を通じて、他者の意見を理解し、自身の考えを深める力を養う。 ・小論文の執筆・発表を通じて、主体的に学習を進める姿勢を身につける。 					
授業内容のレベル・関連科目	大学生として求められるレポート・論文作成能力を養う基礎的な演習である。 関連科目は、これまで履修したすべての科目とする。					
授業外学習(予習・復習)	前半(話し合い学習法)は、事前に教材を読み、要点整理や意見形成を行い、課題をまとめる。後半は、(主体的論文制作)として小論文の構成案作成、執筆、推敲を行う。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間	
使用教科書	桑田てるみ、『学生のレポート・論文作成トレーニング』改訂版。実教出版。					
参考書・その他教材	石井一成、「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」。ナツメ社。					
課題に対するフィードバック	前半は話し合い内容をもとに、文章作成スキルの改善点を共有する。 後半は小論文の草稿に対して個別フィードバックを行い、完成度を高める。					
成績評価方法	小論文(40%)、発表(25%)、話し合い学習への参加(20%)、課題理解度・平常点(15%)					
成績評価基準	学習の到達目標にどの程度到達したかを、本学の学業成績判定規程に基づき評価する。 特に、前半の協働的学習と後半の主体的論文制作の両方を重視する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	計画的に学習を進めることが重要である。 前半は積極的に話し合いに参加し、他者の意見を取り入れながら自身の考えを深める。 後半は主体的に情報収集・執筆・推敲を行い、論文の完成度を高めること。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問はメールまたはチャットで受け付ける。メールの場合は、件名に「科目名・曜日・時限」、本文に「学籍番号・氏名」を必ず記載すること。					

1 回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション> 演習の進め方 シラバスを読み、身の回りにある社会問題や会社組織の問題について考える 演習の目的および目標を理解する
2 回	学習内容 予習 復習	<論文の概説> レポート・論文を書くための基本 教科書を読み、論文とは何かを調べる 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
3 回	学習内容 予習 復習	<基本スキルの説明①> 発想力、読解力 教科書を読み、発想力や読解力について調べる 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
4 回	学習内容 予習 復習	<基本スキルの説明②> 要約力① 教科書を読み、要約をする 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
5 回	学習内容 予習 復習	<基本スキルの説明③> 要約力② 教科書を読み、要約の必要性を調べる 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
6 回	学習内容 予習 復習	<基本スキルの説明④> 批判的思考力 教科書を読み、論点を整理する 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
7 回	学習内容 予習 復習	<基本スキルの説明⑤> 表現力① 教科書を読み、表現の工夫をする 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
8 回	学習内容 予習 復習	<基本スキルの説明⑥> 表現力② 教科書を読み、表現の工夫をする 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
9 回	学習内容 予習 復習	<基本スキルのまとめ> これまでのまとめ これまでの演習を振り返り、演習課題をすべて提出する 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
10 回	学習内容 予習 復習	<論文作成スキル①> 課題発見力① 教科書を読み、テーマを調べる 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
11 回	学習内容 予習 復習	<論文作成スキル②> 課題発見力② 教科書を読み、情報を収集する 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
12 回	学習内容 予習 復習	<論文作成スキル③> 課題発見力③ 教科書を読み、課題を整理する 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
13 回	学習内容 予習 復習	<論文作成スキル④> 情報探索力① 教科書を読み、資料を検索する 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
14 回	学習内容 予習 復習	<論文作成スキル⑤> 情報探索力② 教科書を読み、参考文献を整理する 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
15 回	学習内容 予習 復習	<前期の総括> 小論文の作成 これまでの演習を振り返り、身近なテーマを決める これまでの演習を振り返り、夏休み期間中に小論文を完成させる

16 回	学習内容 予習 復習	〈剽窃の説明〉 論文の盗用について 配布資料を読み、剽窃について調べる 講義の内容を振り返り、次回の演習で発表する
17 回	学習内容 予習 復習	〈小論文作成①〉 小論文のフィードバック① 小論文の作成 小論文の修正
18 回	学習内容 予習 復習	〈小論文作成②〉 小論文のフィードバック② 小論文の作成 小論文の修正
19 回	学習内容 予習 復習	〈小論文作成③〉 小論文のフィードバック③ 小論文の作成 小論文の修正
20 回	学習内容 予習 復習	〈小論文作成④〉 小論文のフィードバック④ 小論文の作成 小論文の修正
21 回	学習内容 予習 復習	〈発表用資料作成①〉 小論文の説明資料をPowerPointで作成① PowerPointの復習 説明資料の作成
22 回	学習内容 予習 復習	〈発表用資料作成②〉 小論文の説明資料をPowerPointで作成② PowerPointでの説明資料作成 説明資料の作成
23 回	学習内容 予習 復習	〈発表用資料作成③〉 小論文の説明資料をPowerPointで作成③ PowerPointでの説明資料作成 説明資料の作成
24 回	学習内容 予習 復習	〈発表〉 小論文の内容をPowerPointで説明する PowerPointでの説明資料作成 フィードバックなど、説明資料の修正
25 回	学習内容 予習 復習	〈発表用資料修正①〉 発表のフィードバック① フィードバックなど、説明資料の修正 フィードバックなど、説明資料の修正
26 回	学習内容 予習 復習	〈発表用資料修正②〉 発表のフィードバック② フィードバックなど、説明資料の修正 フィードバックなど、説明資料の修正
27 回	学習内容 予習 復習	〈再発表①〉 小論文の内容をPowerPointで再発表する フィードバックなど、説明資料の修正 フィードバックなど、説明資料の修正
28 回	学習内容 予習 復習	〈再発表②〉 再発表のフィードバック① フィードバックなど、説明資料の修正 フィードバックなど、説明資料の修正
29 回	学習内容 予習 復習	〈再発表③〉 再発表のフィードバック② フィードバックなど、説明資料の修正 フィードバックなど、説明資料の修正
30 回	学習内容 予習 復習	〈総括〉 これまでの講義を総括する これまでの講義を振り返る 卒業論文作成に向け、必要なことを考えておく

科目名	卒業研究演習〔日本理解専攻〕			科目コード	GR204		
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Japan Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)		
担当教員	吉元 菜々子		教員コード	165		単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日/3時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		10	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		10	
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		10	5.学習の過程で発見した課題を探究する		10	
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		10	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		50	
授業概要	前年度の人間文化演習において学習した成果をもとに、研究テーマを設定し、卒業論文の執筆に取り組む。授業はゼミ形式で行い、受講生は各自の研究の成果の一部を発表し、指導教員の意見を参考にしながら自らの研究を進めていく。						
授業の狙い・到達目標	自分自身が興味関心をもつ分野について探求し、先行研究を踏まえて、研究課題を発見できるようになる。また、研究課題に対して適切な研究方法を設定して研究を進め、論理的に文章にまとめることができるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	これまで履修したすべての科目と関連する。						
授業外学習(予習・復習)	毎回の授業で予習・復習について指示するので、それに従うこと。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間	
使用教科書	教科書は使用しない。必要に応じて授業内で資料を配布する。						
参考書・その他教材	本多勝一(2015)『〈新版〉日本語の作文技術』朝日新聞出版 沼崎一郎(2018)『はじめての研究レポート作成術』岩波書店						
課題に対するフィードバック	毎回の授業において、課題に対するコメントをする。						
成績評価方法	卒論発表会30%(論文に沿った分かりやすい発表ができたか)、平常点70%(毎回の課題を期限内にきちんとこなしてきたか)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	授業時間外に論文の執筆を進める必要がある。主体的かつ計画的に取り組むこと。授業計画は、受講生の研究の進捗状況に応じて変更を加える場合がある。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし。						
担当教員への連絡方法	質問等はメール(yoshimoto@aikoku-u.org)にて受け付ける。						

1 回	学習内容 予習 復習	卒業論文とは何か——今後の計画とテーマ設定にむけて 昨年度までの学習の総括し、自分の学問的興味関心について考えておく。 過去の卒業論文のテーマについて調べ、卒業論文についての理解を深める。
2 回	学習内容 予習 復習	過去の卒業論文の講読 過去の卒業論文を一つ選んで読み、その内容についてまとめておく。 読んだ卒業論文を参考に、論文の構成についての理解を深める。
3 回	学習内容 予習 復習	過去の卒業論文の講読 過去の卒業論文を一つ選んで読み、その内容についてまとめておく。 読んだ卒業論文を参考に、論文の構成についての理解を深める。
4 回	学習内容 予習 復習	研究テーマの設定と執筆計画の策定 これまでの学習成果をもとに、卒業論文の執筆計画を作成する。 授業での助言をもとに、執筆計画の修正を行う。
5 回	学習内容 予習 復習	研究テーマの設定と執筆計画の策定 これまでの学習成果をもとに、卒業論文の執筆計画を作成する。 授業での助言をもとに、執筆計画の修正を行う。
6 回	学習内容 予習 復習	資料の収集と整理 自分の研究テーマに関連する文献資料を収集し、研究動向についてまとめる。 整理した先行研究の中に、自分の研究テーマを位置づける。
7 回	学習内容 予習 復習	資料の収集と整理 自分の研究テーマに関連する文献資料を収集し、研究動向についてまとめる。 整理した先行研究の中に、自分の研究テーマを位置づける。
8 回	学習内容 予習 復習	資料の収集と整理 自分の研究テーマに関連する文献資料を収集し、研究動向についてまとめる。 整理した先行研究の中に、自分の研究テーマを位置づける。
9 回	学習内容 予習 復習	論文構想の立案と執筆 整理した先行研究を踏まえ、論文の構成について考えておく。 論文の構成に沿って、論文の執筆を進める。
10 回	学習内容 予習 復習	論文構想の立案と執筆 整理した先行研究を踏まえ、論文の構成について考えておく。 論文の構成に沿って、論文の執筆を進める。
11 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆と修正 これまでの授業内容をもとに、卒業論文の執筆を進める。 授業での助言をもとに、卒業論文の修正と執筆を行う。
12 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆と修正 これまでの授業内容をもとに、卒業論文の執筆を進める。 授業での助言をもとに、卒業論文の修正と執筆を行う。
13 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆と修正 これまでの授業内容をもとに、卒業論文の執筆を進める。 授業での助言をもとに、卒業論文の修正と執筆を行う。
14 回	学習内容 予習 復習	中間発表準備 執筆状況の整理を行い、これまでの研究成果を発表するためのレジメづくりを行う。 授業での助言をもとに、中間発表準備を進める。
15 回	学習内容 予習 復習	中間発表 これまでの研究の成果をまとめ、発表準備をする。 中間発表に対するコメントを踏まえて研究計画を再考し、論文執筆を進める。

16 回	学習内容 予習 復習	進捗状況の確認と執筆計画の再考 夏期休暇中に執筆した内容についてまとめ、報告できるように準備する。 授業での助言をもとに、執筆計画の見直しを行う。
17 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆と修正 これまでの授業内容をもとに、卒業論文の執筆を進める。 授業での助言をもとに、卒業論文の修正と執筆を行う。
18 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆と修正 これまでの授業内容をもとに、卒業論文の執筆を進める。 授業での助言をもとに、卒業論文の修正と執筆を行う。
19 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆と修正 これまでの授業内容をもとに、卒業論文の執筆を進める。 授業での助言をもとに、卒業論文の修正と執筆を行う。
20 回	学習内容 予習 復習	中間発表 これまでの執筆状況と問題点についてまとめ、報告できるように準備する。 卒業論文の完成に向けて、論文の構成と内容を確定させる。
21 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆と修正 これまでの授業内容をもとに、卒業論文の執筆を進める。 授業での助言をもとに、卒業論文の修正と執筆を行う。
22 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆と修正 これまでの授業内容をもとに、卒業論文の執筆を進める。 授業での助言をもとに、卒業論文の修正と執筆を行う。
23 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆と修正 これまでの授業内容をもとに、卒業論文の執筆を進める。 授業での助言をもとに、卒業論文の修正と執筆を行う。
24 回	学習内容 予習 復習	卒業論文完成に向けた最終確認 これまでの授業内容をもとに、卒業論文の執筆を進める。 授業での助言をもとに、卒業論文の修正と執筆を行う。
25 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の完成 卒業論文を完成させ、もし解決できていない問題点があればそれを明確にしておく。 授業での助言をもとに、卒業論文の修正を行う。
26 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の見直しと修正 改めて卒業論文の見直しを行い、問題点がないかどうかの確認をする。 授業で明らかになった問題点についての修正を行う。
27 回	学習内容 予習 復習	卒業論文発表の準備 完成した卒業論文を発表するためのPPT作りを進める。 発表用PPTの修正と発表原稿の準備を行う。
28 回	学習内容 予習 復習	卒業論文発表の準備 完成した卒業論文を発表するためのPPT作りを進める。 発表用PPTの修正と発表原稿の準備を行う。
29 回	学習内容 予習 復習	卒業論文発表の準備 完成した卒業論文を発表するためのPPT作りを進める。 発表用PPTの修正と発表原稿の準備を行う。
30 回	学習内容 予習 復習	総括 卒業論文を改めて見直し、自分なりに評価をする。 卒業論文の執筆を通じて得られたものについて考え、まとめる。

科目名	卒業研究演習〔心理・生活専攻〕			科目コード	GR207		
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Life and Psychology)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)		
担当教員	中村 博子		教員コード	162		単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日/4時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		20	
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		30	5.学習の過程で発見した課題を探求する		20	
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		20	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		10	
授業概要	心理学分野での卒業研究を行う学生を対象として個別に指導を行う。研究は、文献研究だけでなく、実証データに基づくものも含まれ、そのための方法や技術的な指導も随時行っていく。						
授業の狙い・到達目標	これまでの学修の仕上げとして、卒業研究および卒業論文を主体的に実施し、専門的知識に基づいて論理的に作成・発表できるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	卒業研究は大学における学修の集大成としての位置づけとなる。心理学実験実習や心理学研究法、また自身の関心のある心理学分野の各科目についてはなるべく履修済みであること、あるいは少なくとも合わせての履修を行うことが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	必要に応じて文献などを自分で調べ、また収集したデータなどは十分に整理しておくなど、議論に参加できるよう準備をしてから臨むこと。授業中に議論した内容については自分なりにまとめ、適宜卒業論文に反映させること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	特に使用しない。必要に応じて資料を配布する。						
参考書・その他教材	杉本敏夫(著)『心理学のためのレポート・卒業論文の書き方』サイエンス社 都築学(著)『心理学論文の書き方ーおいしい論文のレンピ』有斐閣アルマ						
課題に対するフィードバック	提出された課題やレポートについては授業の際に適宜フィードバックを行う。						
成績評価方法	卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	原則として毎回出席し、積極的に議論に参加すること。						
科目に関連した教員の実務経験	心理職の臨床実務経験(教育、産業、福祉分野)						
担当教員への連絡方法	授業前後、オフィスアワー、メールでの質問(hnakamura@aikoku-u.org)を受け付ける。						

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクションー心理学の卒業論文を書くために シラバスを読み、授業の概要等について確認しておくこと 授業の目的や内容について自分なりに整理し、その後の学習の心構えを作っておくこと
2 ・ 3 ・ 4 回	学習内容 予習 復習	テーマの選定ー各自の興味関心に基づいて研究テーマの選定を行う。 関心のある日常的な心理学的現象や研究テーマについて発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、自身の研究テーマについて考えをまとめること
5 ・ 6 ・ 7 回	学習内容 予習 復習	先行研究の調査ー選定したテーマに関連する文献の調査を行う。 自身の研究テーマに関連した論文を読み、内容について報告する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、引き続き文献の調査を行うこと
8 ・ 9 回	学習内容 予習 復習	問題設定ー具体的な問題を設定し、研究目的を明らかにする。 自身の研究における問題や仮説、研究目的について発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、問題や仮説、目的について整理しておくこと
10 ・ 11 回	学習内容 予習 復習	実験計画の選定ー実験や調査などの研究方法を確定する。 自身の研究における実験計画を立て、発表する準備をしておくこと 立てた実験計画に基づいて、実験や調査の準備をしておくこと
12 ・ 13 ・ 14 ・ 15 回	学習内容 予習 復習	データ収集ー実験や調査などを行い、データを収集する。 実験や調査の準備状況や実施状況について報告を行えるようにしておくこと 引き続き実験や調査の準備あるいは実施を進めること

<p>16 ・ 17 回</p>	<p>学習内容 予習 復習</p>	<p>中間発表－これまでの成果を発表し、研究内容や進め方について議論する。 ここまでの進捗状況や得られた結果などについて発表する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、さらに自身の研究を進めていくこと</p>
<p>18 ・ 19 ・ 20 回</p>	<p>学習内容 予習 復習</p>	<p>データ収集・分析－引き続きデータを収集し、データを分析・検討する。 実験や調査によって得られたデータをまとめ、報告する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、さらにデータ収集や分析を進めること</p>
<p>21 ・ 22 ・ 23 ・ 24 ・ 25 ・ 26 回</p>	<p>学習内容 予習 復習</p>	<p>論文の執筆－論文の執筆を行う。論文の構成や書き方などについては随時助言、指導する。 実際に論文を書き始める、もしくは書き始めるための準備をしておくこと 構成や書き方などについての助言をふまえて、引き続き論文の執筆を進めること</p>
<p>27 ・ 28 ・ 29 ・ 30 回</p>	<p>学習内容 予習 復習</p>	<p>仕上げ、提出、発表－提出する論文を仕上げ、十分な校正を行い、最終発表の準備をする。 論文の提出に向けての仕上げ、および最終発表に向けての準備を進めること 引き続き論文の提出に向けての仕上げ、および最終発表に向けての準備を進めること</p>

科目名	卒業研究演習〔心理・生活専攻〕			科目コード	GR208		
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Life and Psychology)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)		
担当教員	原島 雅之		教員コード	142		単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日・4時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		20	
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		10	5.学習の過程で発見した課題を探求する		40	
	3.論理的・批判的なものの見方を養う			6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		30	
授業概要	心理学分野での卒業研究を行う学生を対象として個別に指導を行う。研究は、文献研究だけでなく、実証データに基づくものも含まれ、そのための方法や技術的な指導も随時行っていく。						
授業の狙い・到達目標	これまでの学修の仕上げとして、卒業研究および卒業論文を実施、作成・発表できるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	卒業研究は大学における学修の集大成としての位置づけとなる。心理学実験実習や心理学研究法、また自身の関心のある心理学分野の各科目についてはなるべく履修済みであること、あるいは少なくとも合わせての履修を行うことが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	必要に応じて文献などを自分で調べ、また収集したデータなどは十分に整理しておくなど、議論に参加できるよう準備をしてから臨むこと。授業中に議論した内容については自分なりにまとめ、適宜卒業論文に反映させること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	特に使用しない。必要に応じて資料を配布する。						
参考書・その他教材	杉本敏夫(著)『心理学のためのレポート・卒業論文の書き方』サイエンス社 都築学(著)『心理学論文の書き方ーおいしい論文のレンピ』有斐閣アルマ						
課題に対するフィードバック	提出された課題やレポートについては授業の際に適宜フィードバックを行う。						
成績評価方法	卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	原則として毎回出席し、積極的に議論に参加すること。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	harashima@aikoku-u.org						

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクションー心理学の卒業論文を書くために シラバスを読み、授業の概要等について確認しておくこと 授業の目的や内容について自分なりに整理し、その後の学習の心構えを作っておくこと
2 ・ 3 ・ 4 回	学習内容 予習 復習	テーマの選定ー各自の興味関心に基づいて研究テーマの選定を行う。 関心のある日常的な心理学的現象や研究テーマについて発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、自身の研究テーマについて考えをまとめること
5 ・ 6 ・ 7 回	学習内容 予習 復習	先行研究の調査ー選定したテーマに関連する文献の調査を行う。 自身の研究テーマに関連した論文を読み、内容について報告する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、引き続き文献の調査を行うこと
8 ・ 9 回	学習内容 予習 復習	問題設定ー具体的な問題を設定し、研究目的を明らかにする。 自身の研究における問題や仮説、研究目的について発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、問題や仮説、目的について整理しておくこと
10 ・ 11 回	学習内容 予習 復習	実験計画の選定ー実験や調査などの研究方法を確定する。 自身の研究における実験計画を立て、発表する準備をしておくこと 立てた実験計画に基づいて、実験や調査の準備をしておくこと
12 ・ 13 ・ 14 ・ 15 回	学習内容 予習 復習	データ収集ー実験や調査などを行い、データを収集する。 実験や調査の準備状況や実施状況について報告を行えるようにしておくこと 引き続き実験や調査の準備あるいは実施を進めること

<p>16 ・ 17 回</p>	<p>学習内容 予習 復習</p>	<p>中間発表－これまでの成果を発表し、研究内容や進め方について議論する。 ここまでの進捗状況や得られた結果などについて発表する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、さらに自身の研究を進めていくこと</p>
<p>18 ・ 19 ・ 20 回</p>	<p>学習内容 予習 復習</p>	<p>データ収集・分析－引き続きデータを収集し、データを分析・検討する。 実験や調査によって得られたデータを集めて、報告する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、さらにデータ収集や分析を進めること</p>
<p>21 ・ 22 ・ 23 ・ 24 ・ 25 ・ 26 回</p>	<p>学習内容 予習 復習</p>	<p>論文の執筆－論文の執筆を行う。論文の構成や書き方などについては随時助言、指導する。 実際に論文を書き始める、もしくは書き始めるための準備をしておくこと 構成や書き方などについての助言をふまえて、引き続き論文の執筆を進めること</p>
<p>27 ・ 28 ・ 29 ・ 30 回</p>	<p>学習内容 予習 復習</p>	<p>仕上げ、提出、発表－提出する論文を仕上げ、十分な校正を行い、最終発表の準備をする。 論文の提出に向けての仕上げ、および最終発表に向けての準備を進めること 引き続き論文の提出に向けての仕上げ、および最終発表に向けての準備を進めること</p>

科目名	卒業研究演習〔地域共生専攻〕			科目コード	GR210		
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Regional Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)		
担当教員	石毛 一郎		教員コード	166		単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日/4時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		20	
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		30	5.学習の過程で発見した課題を探求する		30	
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		20	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
授業概要	卒業論文の執筆に関する指導を行う。前期は論文執筆に必要な学術的スキルの確認をしながら、研究の具体化に向けた指導をする。後期は執筆指導と研究発表に向けた準備を行う。						
授業の狙い・到達目標	① 学術的な問いを立て、その問いに対し理論的もしくは実証的に検証することができる。 ② 卒業研究を論文としてまとめ、学術成果として発表することができる。						
授業内容のレベル・関連科目	これまで履修した共通教養科目や専攻科目での学修を土台として、興味関心のあるテーマや専門知識のあるテーマを用意・設定できる状態で演習にのぞむことが必要である。						
授業外学習(予習・復習)	教員の助言・指導に従って授業外学習をすること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間	
使用教科書	特になし						
参考書・その他教材	各自の進行に応じて案内する。						
課題に対するフィードバック	随時、口頭やメールなどにより、修正点などのフィードバックを行う。						
成績評価方法	平常点(70%) 卒業論文発表会(30%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	履修者に次のようなことがあった場合には、指導は継続できない。 ①度重なる無断欠席・遅刻 ②教員からの連絡に対して、長期にわたって応答しない場合 ③研究活動に全く意欲がみられない場合 ④ディスカッション等に対して完全に不参加が続く場合						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問、連絡等はメール(ishige@aikoku-u.org)にて受け付ける。 教員は必ず返信をするので、もし返信がない場合は各自、連絡方法を再確認すること。						

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション 卒業研究に使用する機材とソフト、教員との連絡方法、研究の進め方の確認 研究に必要なソフトウェア(ワープロ、表計算、プレゼンテーション、PDFの閲覧)を確認しておく。 不足するパソコンスキルやソフトウェアを確認し、対処が難しければ教員に相談をする。
2 回	学習内容 予習 復習	研究テーマの選び方、資料収集の案内、執筆演習 どのような研究テーマを扱いたいか、案を考える。参考になりそうな資料を用意する。 演習で執筆したものに指導内容を反映させ、提出する。研究テーマを再考し、資料を収集する。
3 回	学習内容 予習 復習	研究テーマ選び、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
4 回	学習内容 予習 復習	研究テーマ選び、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
5 回	学習内容 予習 復習	研究テーマ選び、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
6 回	学習内容 予習 復習	研究テーマ選び、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
7 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の構想、資料収集、執筆演習 これまでのディスカッションと資料収集をふまえて、卒業論文の構想を考える。 演習で執筆したものを修正し、提出する。卒業論文の構想については、指摘箇所を修正する。
8 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の構想、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
9 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の構想、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
10 回	学習内容 予習 復習	研究計画の再スケジュール、卒業論文の執筆指導 卒論に必要な資料収集やデータ収集を考慮したスケジュールを考えておく。 指示に従って修正する。
11 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆指導 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。 前回と同様に復習をする。
12 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆指導 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
13 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆指導 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
14 回	学習内容 予習 復習	中間報告 これまでの研究成果の口頭発表 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。口頭発表の準備をする。 前回と同様に復習をする。
15 回	学習内容 予習 復習	夏期休業中の研究計画の確認 夏期休業中の研究計画を具体的に想定する。 前回と同様に復習をする。

授業スケジュール

16 回	学習内容 予習 復習	夏期休業中の進捗報告 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。夏期休業中の研究の進捗報告の準備をする。 指示に従って修正する。
17 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆指導 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。 指示に従って修正する。
18 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆指導 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
19 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆指導 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
20 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆指導 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
21 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の執筆指導 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
22 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の体裁調整 卒業論文の執筆要綱を再確認し、本文の不備を再点検しておく。 指示に従って修正する。
23 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の体裁調整。 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
24 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の体裁調整、最終稿の作成 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
25 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の体裁調整、最終稿の作成。 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。
26 回	学習内容 予習 復習	卒論発表会の準備(その1) スライドの構成を考える 卒論発表会で用いるスライドの構成を考える。 添削の内容を反映させる。
27 回	学習内容 予習 復習	卒論発表会の準備(その2) スライドの添削 卒論発表会で用いるスライドを、おおむね作成する。 添削の内容を反映させる。冬季休業中の作業内容を確認する。
28 回	学習内容 予習 復習	卒論発表会の準備(その3) スライドの最終添削 卒論発表会で用いるスライドを完成させる。 最終添削の内容を反映させる。
29 回	学習内容 予習 復習	卒論発表会の準備(その4) 発表の予行練習 効果的なプレゼンテーション技法について検討する。 授業で指摘された箇所を修正する。
30 回	学習内容 予習 復習	卒論発表会の準備(その5) 発表の予行練習 プレゼンテーションの時間をあらかじめ計測する。 授業で指摘された箇所を修正する。

科目名	卒業研究演習〔地域共生専攻〕			科目コード	GR211	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Regional Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	岡庭 義行	教員コード	159	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	木曜日/4時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		30
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			5.学習の過程で発見した課題を探究する		30
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		30	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		10
授業概要	地域共生専攻における自己の関心テーマに基づいた卒業論文の作成と指導を目的とする。演習は「課題の設定」「資料の収集」「整理と分析」「卒業論文の作成」「口頭発表」から構成され、各領域において履修生と教員が対話を行いながら、指導と作業を進めていくことをその目途とする。					
授業の狙い・到達目標	[到達目標①] 卒業論文の課題を自らの関心領域に従って設定し、的確に説明することができる。 [到達目標②] 適切な表現と構成により、論理的な卒業論文を作成することができる。 [到達目標③] 自身の卒業論文について、口頭発表等により分かりやすく説明することができる。					
授業内容のレベル・関連科目	卒業論文を作成するのに必要な論理的思考、表現力、構成力を求められるため、関連する講義や演習を積極的に履修し、幅広い視野と思考力を積極的に養うことが望ましい。					
授業外学習(予習・復習)	[事前学習] 自己の関心テーマに基づいた資料や情報の収集と課題領域の課題考察を深める。[事後学習] 演習後に取り組むべき課題を振り返り、新たな問題の探求を心がける。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	特になし					
参考書・その他教材	各テーマに基づき演習中に関係資料を明示するとともに、参考文献の一覧を配布する。					
課題に対するフィードバック	提出課題はすべてコメントを記して返却し、適宜、関連資料を付して解説する。					
成績評価方法	卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	自己を高める意識と努力をもって、自身の学修成果と関心領域を積極的に結びつけること。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	メールでの質問(okaniwa@aikoku-u.org), またはオフィスアワー(新年度に掲示)。もちろん授業終了後に、直接聞くことも可。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション 達成目標の解説と卒業論文の意義 シラバスを精読し演習の概要と方法について確認しておくこと。 演習の目的や内容について確認し、卒業論文の目標と展望を深める。
2 回	学習内容 予習 復習	課題設定① 自己への問いかけと省察 各自の関心領域に学問的な整合性を持たせた卒業論文課題を設定する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
3 回	学習内容 予習 復習	課題設定② 先行研究の参照 各自の関心領域に学問的な整合性を持たせた卒業論文課題を設定する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
4 回	学習内容 予習 復習	課題設定③ 課題の仮設定 各自の関心領域に学問的な整合性を持たせた卒業論文課題を設定する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
5 回	学習内容 予習 復習	資料の収集① 図書館のリファレンス利用 資料収集の技術と知識を学び、設定された課題に関連した文献、調査資料、統計等を収集する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
6 回	学習内容 予習 復習	資料の収集② ネット検索の技法とリテラシー 資料収集の技術と知識を学び、設定された課題に関連した文献、調査資料、統計等を収集する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
7 回	学習内容 予習 復習	資料の収集③ 統計資料の収集方法 資料収集の技術と知識を学び、設定された課題に関連した文献、調査資料、統計等を収集する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
8 回	学習内容 予習 復習	資料の収集④ 社会調査(量的調査) 資料収集の技術と知識を学び、設定された課題に関連した文献、調査資料、統計等を収集する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
9 回	学習内容 予習 復習	資料の収集⑤ 社会調査(質的調査・アクションリサーチ) 資料収集の技術と知識を学び、設定された課題に関連した文献、調査資料、統計等を収集する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
10 回	学習内容 予習 復習	整理と分析① ラベリングとコーディング 整理技法と分析的枠組みを用いて、収集された論文資料を考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
11 回	学習内容 予習 復習	整理と分析② 資料の解析と解釈 整理技法と分析的枠組みを用いて、収集された論文資料を考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
12 回	学習内容 予習 復習	整理と分析③ 因果関係と相関関係 整理技法と分析的枠組みを用いて、収集された論文資料を考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
13 回	学習内容 予習 復習	整理と分析④ 資料の保存と保管 整理技法と分析的枠組みを用いて、収集された論文資料を考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
14 回	学習内容 予習 復習	整理と分析⑤ 人権と倫理 整理技法と分析的枠組みを用いて、収集された論文資料を考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
15 回	学習内容 予習 復習	前期のまとめ・総括 -資料の論理性と客観性- 前期までの成果を総括して、後期までに取り組むべき課題を確認する。 演習内容を各自の学問的関心に接続させ、今後の学びを発展させていく。

16 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション - 達成目標の再確認と調整 - シラバスを精読し演習の概要と方法について確認しておくこと。 演習の目的や内容について確認し、以降の講義の目標と展望を深める。
17 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の作成① - 仮題と目次 - 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
18 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の作成② - 問題の所在1(1)- 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
19 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の作成③ - 問題の所在(2) - 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
20 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の作成④ - 研究史(1) - 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
21 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の作成⑤ - 研究史(2) - 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
22 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の作成⑥ - 事例の記述(1) - 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
23 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の作成⑥ - 事例の記述(2) - 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
24 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の作成⑦ - 事例の記述(3) - 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
25 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の作成⑧ - 考察と展望(1) - 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
26 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の作成⑨ - 考察と展望(2) - 整理・分析された資料を用いて、構成を省察しながら、卒業論文の作成を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
27 回	学習内容 予習 復習	口頭発表① 意義と準備 卒業論文の目的と内容を資料にまとめ、ICTを活用した口頭発表の準備作業を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
28 回	学習内容 予習 復習	口頭発表② 資料作成とコミュニケーション・スキル 卒業論文の目的と内容を資料にまとめ、ICTを活用した口頭発表の準備作業を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
29 回	学習内容 予習 復習	口頭発表③ ICTを活用した実践 卒業論文の目的と内容を資料にまとめ、ICTを活用した口頭発表の準備作業を行う。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、論文の内容と構成を精査する。
30 回	学習内容 予習 復習	まとめ・総括 - 新しい知の地平を求めて - これまでの演習を振り返り、可能な限り近接する課題や日常の問題意識に結びつけること。 学習内容を各自の学問的関心に接続させ、今後の学びを発展させていく。

科目名	卒業研究演習〔ビジネス専攻〕			科目コード	GR214		
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Business Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)		
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161		単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日/4時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		30	
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		20	5.学習の過程で発見した課題を探求する		20	
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		30	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
授業概要	研究論文を完成させること。 研究を要約した発表を行うこと。						
授業の狙い・到達目標	これまで学んだことを踏まえ、自分自身で考え、オリジナリティを有し、新しい視点などを持つ論文を作成することができる。 他者に自身の研究を理解してもらえるような発表ができるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	ビジネス専攻に関係する知識を得ていることが前提となる。 これまで履修した科目がすべてが関連する。						
授業外学習(予習・復習)	自分の研究であることを意識し、受け身にならず自ら調べ疑問を解決できるように心がけること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間		
使用教科書	特になし						
参考書・その他教材	研究内容によって個人ごとに通知する。						
課題に対するフィードバック	課題に対するフィードバックは個別に行う。						
成績評価方法	課題への取り組み(70%)、卒論発表会(30%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)のサイクルを心がけること。 各自の進度によって講義の内容が前後する場合がある。夏休み中も指導を行う。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィスアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(年間スケジュール、研究および論文作成について) 人間文化演習でまとめた内容を読み返しておく 人間文化演習でまとめた内容から題目を検討する
2 回	学習内容 予習 復習	研究主題の検討 人間文化演習でまとめた内容からリサーチクエスチョンと仮説を整理しておく 仮説の妥当性を検証して主題を作成しておく
3 回	学習内容 予習 復習	研究主題の検討 先行研究から新規性のあるテーマであることを確認しておく 仮説の妥当性を検証して主題を修正しておく
4 回	学習内容 予習 復習	研究主題の検討 先行研究から新規性のあるテーマであることを確認しておく 仮説の妥当性を検証して主題を修正しておく
5 回	学習内容 予習 復習	研究主題の検討 先行研究から新規性のあるテーマであることを確認しておく 仮説の妥当性を検証して主題を修正しておく
6 回	学習内容 予習 復習	研究主題の設定 研究の背景, 目的, 方法を検討しておく アウトラインを作成しておく
7 回	学習内容 予習 復習	先行研究サーベイ 研究内容に関連する文献を調査しておく 収集した文献を読み込み明らかになったことと課題を整理しておく
8 回	学習内容 予習 復習	先行研究サーベイ 研究内容に関連する文献を調査しておく 収集した文献を読み込み明らかになったことと課題を整理しておく
9 回	学習内容 予習 復習	先行研究サーベイ 研究内容に関連する文献を調査しておく 収集した文献を読み込み明らかになったことと課題を整理しておく
10 回	学習内容 予習 復習	先行研究サーベイ 研究内容に関連する文献を調査しておく 収集した文献を読み込み明らかになったことと課題を整理しておく
11 回	学習内容 予習 復習	アウトラインの修正 先行研究サーベイの結果をアウトラインに反映しておく 指導された内容をアウトラインに反映しておく
12 回	学習内容 予習 復習	アウトラインの修正 指導された内容をアウトラインに反映しておく 指導された内容をアウトラインに反映しておく
13 回	学習内容 予習 復習	アウトラインの修正 指導された内容をアウトラインに反映しておく 指導された内容をアウトラインに反映しておく
14 回	学習内容 予習 復習	中間(アウトライン)発表準備 研究により自分が主張したいことを明確にしておく 発表の準備をしておく
15 回	学習内容 予習 復習	中間発表 研究により自分が主張したいことを明確にしておく 中間発表で指摘された問題点を整理しておく

16 回	学習内容 予習 復習	夏休み中の進捗報告 論文を作成する 論文を作成する
17 回	学習内容 予習 復習	論文を作成 論文を作成する 論文を作成する
18 回	学習内容 予習 復習	論文を作成 論文を作成する 論文を作成する
19 回	学習内容 予習 復習	論文を作成 論文を作成する 論文を作成する
20 回	学習内容 予習 復習	論文を作成 論文を作成する 論文を作成する
21 回	学習内容 予習 復習	論文を作成 論文を作成する 論文を作成する
22 回	学習内容 予習 復習	論文を作成 論文を作成する 論文を作成する
23 回	学習内容 予習 復習	論文を作成を完了 論文を作成する 発表スライドの作成
24 回	学習内容 予習 復習	発表スライドの作成 発表の準備をする 発表の準備をする
25 回	学習内容 予習 復習	発表スライドの作成 発表の準備をする 発表の準備をする
26 回	学習内容 予習 復習	発表スライドの作成 発表の準備をする 発表の準備をする
27 回	学習内容 予習 復習	発表スライドの作成 発表の準備をする 発表の準備をする
28 回	学習内容 予習 復習	発表の予演を行う 発表の準備をする 本番に向けての修正を行う
29 回	学習内容 予習 復習	発表の予演を行う 発表の準備をする 本番に向けての修正を行う
30 回	学習内容 予習 復習	発表の予演を行う 発表の準備をする 本番に向けての修正を行う

科目名	卒業研究演習〔ビジネス専攻〕			科目コード	GR215	
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Business Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	日坂 彰	教員コード	137	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日/3時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		20
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		10	5.学習の過程で発見した課題を探究する		40
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		10	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		20
授業概要	日常生活に関連したさまざまな問題や課題についてICT(情報通信技術)を利用した問題解決の手法を体系的に学び、卒業研究に展開する。					
授業の狙い・到達目標	学生の自由な発想と創造を尊重する。PBL(問題解決型学習)を応用して、課題の探求、解決手法についての理解、ICTの適用と手法の創造、システムの検証、成果の公開を通して、卒業研究を進めることができる。					
授業内容のレベル・関連科目	共通科目全般、ビジネス専攻科目及び「人間文化演習(情報科学分野)」に加えて、本学開講科目のあらゆる科目との関連可能性あり					
授業外学習(予習・復習)	予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。 復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。 各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間	
使用教科書	桑田てるみ「学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版」実教出版					
参考書・その他教材	石井一成「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」ナツメ社					
課題に対するフィードバック	各工程毎に点検し、フィードバックを行う。					
成績評価方法	卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを、本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	標準的なスケジュールであり、進捗次第で繰り上げ進行する。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	本学 Google Workspace for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org					

1 回	学習内容 予習 復習	卒業研究とは — 研究の進め方、研究倫理、スケジュール管理 人間文化演習の成果をまとめておくこと。 一年間の計画を立てること。
2 回	学習内容 予習 復習	論文作成の基礎(1) 論文作成の基礎、問題抽出、PBL 人間文化演習の成果も含めて、自分の関心・興味のある問題や課題を整理しておくこと。 自分の関心・興味のある問題や課題をまとめること。
3 回	学習内容 予習 復習	論文作成の基礎(2) アカデミック・ライティング 指定資料を読んでおくこと。 指定練習問題を解くこと。
4 回	学習内容 予習 復習	論文作成の基礎(3) テーマ方向性選定とリサーチ・クエスチョンの設定 テーマ(題目)の草案を考えてくること。 研究目的を明確にすること。
5 回	学習内容 予習 復習	論文作成の基礎(4) 論文構成考案 指定資料を読んでおくこと。 論文構成からストーリー(論理展開)を構築すること。
6 回	学習内容 予習 復習	先行研究調査(1) 情報検索、文献検索及び文献収集 指定資料を読んでおくこと。 指定数以上の文献を収集・管理し、記録する。
7 回	学習内容 予習 復習	先行研究調査(2) 文献の引用と著作権 指定資料を読んでおくこと。 指定数以上の文献を収集・管理し、記録する。
8 回	学習内容 予習 復習	先行研究調査(3) 先行研究レビュー 収集済み文献を指定数以上読んでおくこと。 先行研究レビューレポートを作成する。
9 回	学習内容 予習 復習	先行研究調査(4) アカデミック・リーディング 指定資料を読んでおくこと。 先行研究レビューレポートを作成する。
10 回	学習内容 予習 復習	テーマ確定と論証過程確認 指定資料を読んでおくこと。 テーマと論証過程を明確にすること。
11 回	学習内容 予習 復習	研究方法設計、フィージビリティー検証 指定資料を読んでおくこと。 研究方法を明確にすること。
12 回	学習内容 予習 復習	オリジナリティー検証 指定資料を読んでおくこと。 オリジナリティーを明確にすること。
13 回	学習内容 予習 復習	中間報告ディスカッション それまでの研究内容をレポートとしてまとめる。 中間報告をまとめる。
14 回	学習内容 予習 復習	中間報告まとめ 中間報告をまとめる。 中間報告発表(プレゼンテーションファイル作成を含む)を作成する。
15 回	学習内容 予習 復習	中間報告発表 中間報告発表(プレゼンテーションファイル作成を含む)を完成する。 中間報告発表の振り返り・検証を行う。

16 回	学習内容 予習 復習	研究方針と論文構成の再確認 論文執筆(後期開始時点までに3000字目標) 残り期間の計画を立てること。
17 回	学習内容 予習 復習	論文作成(1) 論文執筆 フィードバックへの対応
18 回	学習内容 予習 復習	論文作成(2) 論文執筆 フィードバックへの対応
19 回	学習内容 予習 復習	論文作成(3) 論文執筆(6000字目標) フィードバックへの対応
20 回	学習内容 予習 復習	論文作成(4) 論文執筆 フィードバックへの対応
21 回	学習内容 予習 復習	論文作成(5) 論文執筆(9000字目標) フィードバックへの対応
22 回	学習内容 予習 復習	論文作成(6) 論文執筆 フィードバックへの対応
23 回	学習内容 予習 復習	論文作成(7) 論文執筆(12000字目標) フィードバックへの対応
24 回	学習内容 予習 復習	論文作成(8) 論文執筆 フィードバックへの対応
25 回	学習内容 予習 復習	卒業論文完成、提出準備、形式要件チェック 提出ファイルの購入を済ませ、提出票を作成しておく。 卒業論文の振り返り・検証を行う。
26 回	学習内容 予習 復習	発表方針決定 プレゼンテーションに関する指定資料を読んでおく。 プレゼンテーションファイルの作成を開始する。
27 回	学習内容 予習 復習	発表準備(1) プレゼンテーションに関する指定資料を読み理解、反映する。 フィードバックへの対応
28 回	学習内容 予習 復習	発表準備(2) プレゼンテーションに関する指定資料を読み理解、反映する。 フィードバックへの対応
29 回	学習内容 予習 復習	発表リハーサル 発表リハーサルの準備をする。 フィードバックへの対応
30 回	学習内容 予習 復習	卒業論文と発表の総合評価 発表の準備をする。 発表の振り返り・検証を行う。

科目名	卒業研究演習〔ビジネス専攻〕			科目コード	GR216		
英文名	Graduation Research Seminar II (Major of Business Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)		
担当教員	呉 鷲		教員コード	157		単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日/3時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		10	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		10	
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		30	5.学習の過程で発見した課題を探究する		20	
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		20	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		10	
授業概要	前年度の人間文化演習で培った研究基礎力を踏まえ、各自が関心を有するテーマについて卒業論文を作成し、発表する。						
授業の狙い・到達目標	卒業研究演習を通じて、履修生自身が関心を持っているテーマに対して、課題の発見、検証(実態調査)、結果の検討・考察というプロセスを踏まえ、自らの考えを論理的に述べるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	論理的な文章の書き方を習得する。関連科目:人間文化演習に限らない。						
授業外学習(予習・復習)	卒業論文の完成を目指して、毎回の演習での指導内容を踏まえて、内容を着実に更新していく。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間		
使用教科書	特になし						
参考書・その他教材	研究テーマによって、自ら参考文献・資料を探す必要がある。						
課題に対するフィードバック	毎回の演習で、研究テーマ、内容、進め方に対して、履修生の自主性を重視しながら、建設的な意見を提示する。						
成績評価方法	卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか)						
成績評価基準	卒業論文の完成度、卒論発表の状況及び普段の取り組みなどを踏まえ、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基づき、到達度を総合的に評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	計画通りに主体的に取り組む。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)あるいは対面で対応する。メールの場合、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。対面の場合、授業終了後あるいはオフィスアワー(新年度に掲示)に対応する。						

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(スケジュール、達成目標、進め方などを説明する。)、テーマ報告(1名5分) シラバスを事前に確認し、関心のあるテーマを1人当たり5分間で説明できるように準備する。 テーマに対するコメントを確認し、年間計画(どのように進めるか)を立ててみる。
2 回	学習内容 予習 復習	関心のあるテーマに関する課題の提示(1)、順番に報告 関心のあるテーマにどのような課題があるか、それについてレジュメを作成する。 指導教員からのコメントを踏まえ、関連情報・知識を取得し、課題検討をさらに深めていく。
3 回	学習内容 予習 復習	関心のあるテーマに関する課題の提示(2)、順番に報告 関心のあるテーマにどのような課題があるか、それについてレジュメを作成する。 指導教員からのコメントを踏まえ、関連情報・知識を取得し、課題検討をさらに深めていく。
4 回	学習内容 予習 復習	先行研究に関する報告(1) 研究テーマに含まれた課題は先行研究ではどのように述べられたか。調べて報告できるように。 先行研究と指導教員からのコメントを踏まえて、自分の問題意識を醸成する。
5 回	学習内容 予習 復習	先行研究に関する報告(2) 研究テーマに含まれた課題は先行研究ではどのように述べられたか。調べて報告できるように。 先行研究と指導教員からのコメントを踏まえて、自分の問題意識を醸成する。
6 回	学習内容 予習 復習	研究テーマとその進め方に関する報告(1) 研究テーマをどのように明かにするか、を考えて、報告できるようにレジュメを作成する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、課題解明の方法を探る。
7 回	学習内容 予習 復習	研究テーマとその進め方に関する報告(2) 研究テーマをどのように明かにするか、を考えて、報告できるようにレジュメを作成する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、課題解明の方法を探る。
8 回	学習内容 予習 復習	課題の調べ方に関する報告(1)～研究対象の明確化 自分が提示した課題をどのように明かにするかというシナリオを踏まえ、その調べ方を述べる。 指導教員のコメントと自身の考えを踏まえ、どこで何を調べて、何かを明かにするか、を決める。
9 回	学習内容 予習 復習	課題の調べ方に関する報告(2)～研究対象の明確化 自分が提示した課題をどのように明かにするかというシナリオを踏まえ、その調べ方を述べる。 指導教員のコメントと自身の考えを踏まえ、どこで何を調べて、何かを明かにするか、を決める。
10 回	学習内容 予習 復習	文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査に向けた準備(1) 調べる項目の整理、質問項目の作成などを進めて、報告できるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調べる項目、質問項目などを改善する。
11 回	学習内容 予習 復習	文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査に向けた準備(2) 調べる項目の整理、質問項目の作成などを進めて、報告できるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調べる項目、質問項目などを改善する。
12 回	学習内容 予習 復習	文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査の実施計画／結果に関する報告(1) 実施可能性を踏まえ、実施計画を見直す。あるいは実行して、その結果を報告する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調査を実行する。(進捗の個人差を尊重する。)
13 回	学習内容 予習 復習	文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査の実施計画／結果に関する報告(2) 実施可能性を踏まえ、実施計画を見直す。あるいは実行して、その結果を報告する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調査を実行する。(進捗の個人差を尊重する。)
14 回	学習内容 予習 復習	調査結果に関する報告 調査した結果を整理して、報告できるようにレジュメや報告書を作成する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、その結果に基づいて論文の構成を考えてみる。
15 回	学習内容 予習 復習	論文の構成に関する報告 論文の構成を報告できるように、これまでのプロセスを踏まえて内容を整理する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、論文の構成を見直し、本文を書き始める。

16 回	学習内容 予習 復習	夏休み期間中の進捗の報告(1)(書き終えた部分を提出する。電子版のみ。) 夏休み期間中も卒業論文の作成を計画的に進める。補足調査も実施する(指導教員と相談)。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、見直ししながら、先に進める。
17 回	学習内容 予習 復習	夏休み期間中の進捗の報告(2)(書き終えた部分を提出する。電子版のみ。)□ 夏休み期間中も卒業論文の作成を計画的に進める。補足調査も実施する(指導教員と相談)。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、見直ししながら、先に進める。
18 回	学習内容 予習 復習	卒業論文の共通問題点に関する説明(参考文献、引用文献、注など) 前回のコメントを踏まえ、卒業論文を書き進める。 第18回の指導教員からの説明、コメントを踏まえて、卒業論文の要注意箇所を改善していく。
19 回	学習内容 予習 復習	論文全体の1/4まで書き進め、その進捗を報告する。 論旨が明確かどうか、チェックしながら、論文全体の1/4まで書き進めるように専念する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。
20 回	学習内容 予習 復習	履修生の間で相互チェックを行い、意見を出し合う。 論文全体の1/3まで書き進め、履修生の間で相互チェックできるように準備する。 履修生からのコメント、指導教員の総合的判断と自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。
21 回	学習内容 予習 復習	論文全体の1/2まで書き進め、その進捗を報告する。 論文全体の1/2まで書き進めることに専念し、進捗の報告ができるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。
22 回	学習内容 予習 復習	論文全体の2/3まで書き進め、その進捗を報告する。 論文全体の2/3まで書き進めることに専念し、進捗の報告ができるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。
23 回	学習内容 予習 復習	論文全体の3/4まで書き進め、その進捗を報告する。 論文全体の4/4まで書き進めることに専念し、進捗の報告ができるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。
24 回	学習内容 予習 復習	結論の部分を検討し、論文初稿の完成(12,000字以上)を目指す。 結論の部分についてよく検討し、それについて報告できるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、結論の部分を修正し、初稿の完成を目指す。
25 回	学習内容 予習 復習	論文初稿の修正 自分で修正し、修正した部分を報告する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、論文全体を修正する。
26 回	学習内容 予習 復習	卒業論文のミニ発表(1) 卒業論文の内容をMicrosoft PowerPointでプレゼンテーションできるように、準備を進める。 指導教員と履修生からのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。
27 回	学習内容 予習 復習	卒業論文のミニ発表(2) プレゼンテーションの内容を改善するように取り組む。 指導教員と履修生からのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。
28 回	学習内容 予習 復習	卒業論文のミニ発表(3) プレゼンテーションの内容をさらに改善するように取り組む。 指導教員と履修生からのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。
29 回	学習内容 予習 復習	卒業論文のミニ発表(4) プレゼンテーションの内容をより明確に分かりやすく表現するように取り組む。 指導教員と履修生からのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。
30 回	学習内容 予習 復習	総合的なコメント、卒業論文本体とプレゼンテーションの内容の最終チェック 卒業論文を分かりやすく説明できるように着実に準備を進める。 指導教員と履修生からのコメント並びに自分の考えを踏まえ、論文本体とスライドを修正する。